

前芝中学校通信

～校長室の窓から～

豊橋市立前芝中学校

第48号

H27. 7. 30

命の尊さ・平和を守ることの大切さを 戦後70年の今、皆で考えよう



平成27年8月7日(金)

体育館棟等竣工記念事業関連行事

『命を考える観劇会 “嗚呼、青春の花は咲く”』

本校正門の横に、登下校の生徒たちを見守るかのようにある豊川工廠戦没学徒之碑をご存知でしょうか。私は一昨年4月、本校赴任の日にこの慰霊碑に出会い、これが前芝中学校にあるのは、子供たちの命に関係があるのでは…と考え、史実を知りたいと強く思いました。その後、多くの命を奪った豊川海軍工廠への空襲で、豊橋市内の中学校ではただ一校、学徒動員をしていた本校の生徒10名の尊い命が奪われたと知りました。

昨年と一昨年の8月の出校日には、講師を数名お招きし、戦争体験を聴いたり、豊橋空襲について学んだりしました。生徒の感想には、「前芝中の先輩が豊川海軍工廠に学徒動員され、その中の十人が命を落としたと聞き、本当に悲しくなりました」「自分の子どもに戦争の愚かさを語り継いでいきたいと思いました」等の意見が多くありました。講師の方からは、「日常生活に戦争があった」「国と国が話し合いで解決せずに戦争をしたから尊い命を失った。皆さんも同じ。友達と言葉や暴力で争うのではなく話し合いで理解し合えば、いじめはなくなる」という言葉をいただき、生徒たちの心に深く響いたことと思います。

現1年生は、小学校6年生の時に総合的な学習で豊橋空襲について学び、中にはESDユネスコスクールフォーラムで発表した生徒もいます。

こういった中、戦後70年にあたる今年、本校の慰霊碑について生徒と職員が共に学び、平和の尊さを感じるとともに、本校に学んだ13歳の10名の尊い命が失われた豊川海軍工廠への爆撃や、当時の生徒の思いを知り、命の大切さについて考えたいと思いました。社会科主任の乙部先生より、



朝会や社会科の授業等で事前学習をし、特に1年生は校区在住の牧平興治さんをグロスタッチャーとしてお招きし、総合的な学習で学んできました。本日の全校集会でその感想の発表がありますが、そういった学びを全校で共有しながら観劇会に臨みたいと思います。

なお、観劇会では子供たちと同じ年頃で希望参加の生徒が演劇をする姿に学ぶこともあると考えます。また、観劇に関するマナーについても実体験として学ぶ機会としたいと思っています。